

## ⑩ 名刹護国寺と目白台コース



江戸切絵図 「雑司ヶ谷音羽絵図」(国会図書館デジタルコレクションより)

都心にありながら江戸の面影を伝える護国寺の境内から清土鬼子母神までを、江戸名所図絵を片手に散策します。ここから続く目白台には、明治時代文化人が多く住み、窪田空穂終焉の地や日本女子大学創設者成瀬仁蔵旧宅などを訪ねます。

**護国寺** 神齡山悉地院護国寺 文京区大塚 5-40-1

- 護国寺は、5代将軍徳川綱吉が生母・桂昌院の願いで天和元年（1681）に創建され、その後将軍家の祈願寺となりました。
- ご本尊は、桂昌院念持仏・如意輪観世音菩薩で、秘仏のため、宮殿の開帳仏が毎月18日の縁日に御開帳されます。
- 江戸川橋に向かう音羽通りは、桂昌院の参詣の多くに同行した綱吉の御成り道でした。
- 江戸後期には境内に音羽富士や西国札所写三十三所観音が設けられ、庶民の娯楽の場所としても賑わいました。

## 仁王門（区指定有形文化財）



元禄期の姿を今に伝えて  
いる門です。

仁王門の先の階段の上に何が  
あるでしょうか？

正面両脇間には金剛力士像があります。  
（西側の阿形像）

## 手水舎

- 元禄時代に桂昌院が寄進した手水舎です。



水盤はどんな形をしているのでしょうか？

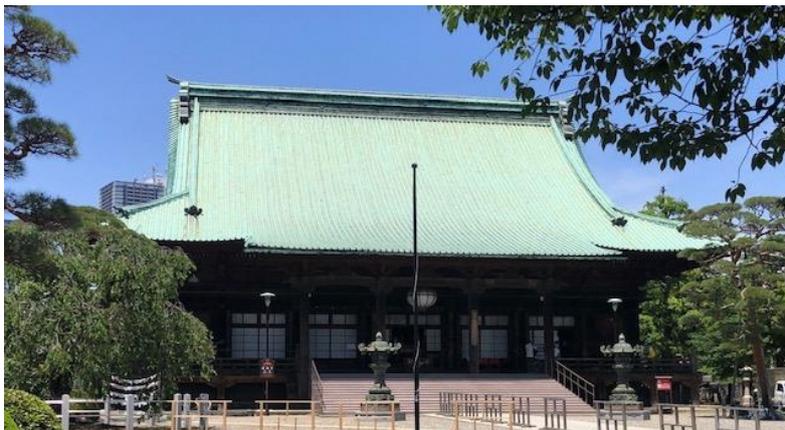


## 大師堂（区指定有形文化財）



- 弘法大師をお祀りしています。
- 火災により焼失したため、境内にあった元禄時代創建の旧薬師堂を移築しました。正面の擬宝珠と石灯籠は当時のままです。

## 本堂（観音堂） （国指定重要文化財）



- 元禄 10 年（1697）5 代将軍綱吉の命で建立されました。
- 本堂内に上がり、綱吉直筆の『悉地院』の扁額、三十三身像他多数の仏像、桂昌院乗用といわれる駕籠なども実際にご覧ください。

## 月光殿 （国指定重要文化財）



- 元三井寺日光院の客殿（桃山時代の書院建築様式）だった旧原六郎邸の慶長館を移築し、月光殿としました。
- 大正昭和にかけて周辺に茶室が整備され、東京の茶道興隆に大きな役割を果たしました。

（写真：護国寺 HP より）

## 清土鬼子母神

豊島区雑司ヶ谷 3-15-20



- 永禄 4 年（1561）に発見された「鬼子母神尊像」は、現在雑司ヶ谷鬼子母神で祀られています。



入口門前に  
「鬼子母神像出現所」の石碑があります。  
「鬼」の字にご注目を。(答えは下)

(鬼神から善神に変わり、上部の点がとれました)

### やかんざか 薬罐坂（夜寒坂）と村川家住宅（国登録有形文化財）



Google map

薬罐坂「やかん」とは野犬や狐（きつね）のこと。昔ここは、けものが出るようなさびしい場所であったのでしょうか？

- 江戸末期、坂の東側は松平出羽守の下屋敷、西側は矢場でしたが、明治時代になり、文化人が多く住むようになりました。

#### 村川家住宅

- 明治44年（1911）西洋史学者・村川堅固が建て、今もなお住み続けられる住まいです。和風の主屋に西洋館が付属、後に石蔵・離れを増設しています。
- 特別公開日を除き、非公開です。

## 窪田空穂終焉の地

文京区目白台 1-15-6



窪田空穂（明治10年-昭和42年）

- 歌人、国文学者で、この地に46年間住みました。
- 護国寺を歌った短歌があります。

「この道を行きつつ見やる谷越えて

蒼くもけふる護国寺の屋根」

「護国寺の山門の丹の円柱つよきものこそ美しくあれ」

（写真：窪田空穂記念館所蔵）

## 成瀬記念講堂と成瀬仁蔵旧宅（区指定有形文化財）

文京区目白台 2-8-1

プロテスタント牧師の成瀬仁蔵は、この地に明治34年（1901）、日本における最初の総合的な女子高等教育機関として日本女子大学を創設し、大学内のこの住宅に亡くなるまで住みました。

成瀬記念講堂内部

• 明治39年（1906）に建設された、洋風講堂建築です。関東大震災で崩れた煉瓦壁は木造で改修されました。



（写真：日本女子大学HPより）



成瀬記念館分館（成瀬仁蔵旧宅）

文京区の観光ボランティアガイドと  
楽しいツアーに参加しませんか？

お申し込みをお待ちしています。

[ガイドツアーのお申し込みはこちら](#)

構成、文 文京区観光ガイド出典未記入の画像は筆者撮影